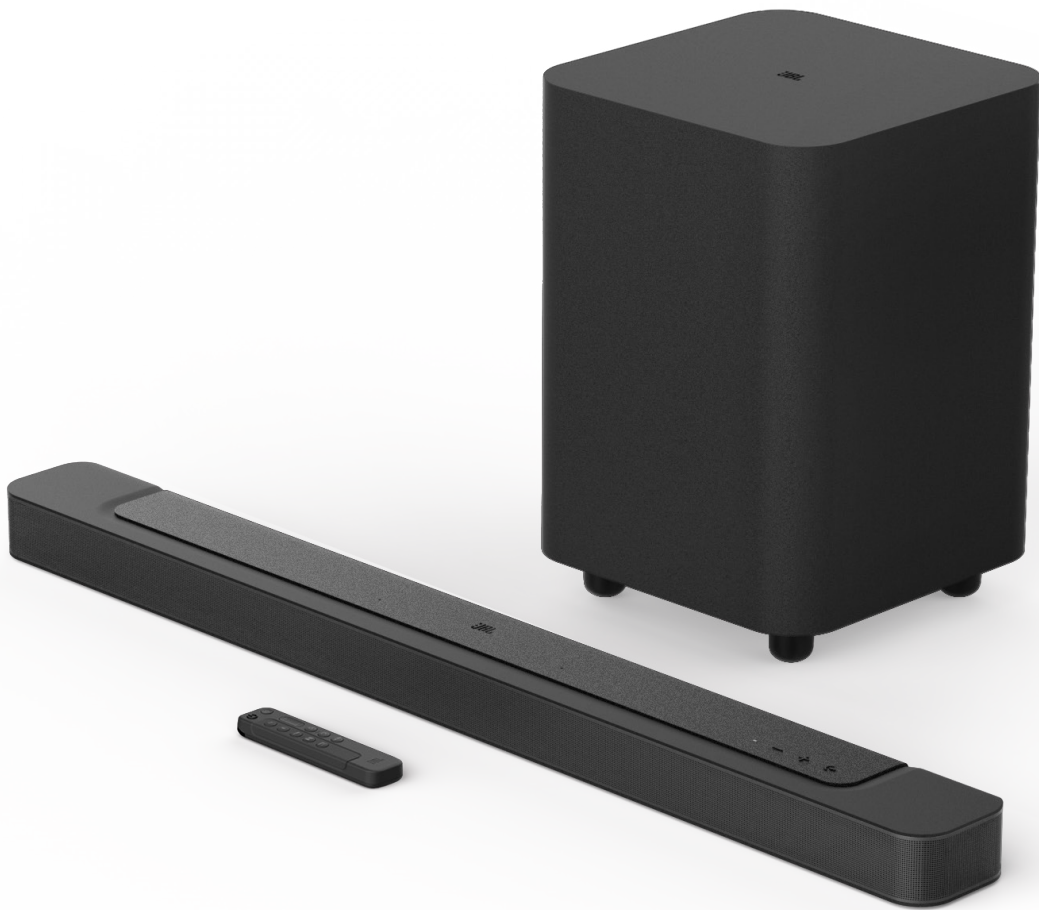




BAR 500



取扱説明書

重要な安全上の注意

使用前に電源電圧を確認する

JBL BAR 500（サウンドバーおよびサブウーファー）は100-240ボルト、50/60HzのAC電流で使用できるように設計されています。本製品が対応していない電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、本機に損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がありましたら、コンセントに本機をつなぐ前に販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

延長コードは使用しないこと

危険を回避するため、本機に付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めできません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードが同梱されていた場合は、認定サービスセンターがただちに工場の仕様に適合したものにお取替えます。

AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にコードを引っ張らないでください。長期間このスピーカーを使用するつもりがない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

本体を分解しない

本製品内にはお客様が修理できる箇所はありません。本体を開けると感電する可能性があり、製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、認定サービスセンターにご相談ください。

目次

| | | | |
|-------------------------------|-----------|--------------------------------|-----------|
| 重要な安全上の注意 | 2 | 8. サウンドの設定 | 19 |
| 1. はじめに | 4 | 8.1 オーディオシンク | 19 |
| 2. 同梱品 | 5 | 8.2 スマートモード | 19 |
| 3. 製品の概要 | 6 | 9. 工場出荷時設定への復元 | 20 |
| 3.1 サウンドバー | 6 | 10. ソフトウェアのアップデート | 20 |
| 3.2 サブウーファー | 6 | 11. サブウーファーの再接続 | 21 |
| 3.3 リモコン | 7 | 12. 製品の仕様 | 21 |
| 4. 設置 | 8 | 13. トラブルシューティング | 22 |
| 4.1 台への設置 | 8 | 14. 商標 | 24 |
| 4.2 壁に取り付ける | 8 | 15. オープンソースのライセンスに関する注意 | 25 |
| 5. 接続 | 9 | | |
| 5.1 TVおよびデジタル機器との接続 | 9 | | |
| 5.2 BLUETOOTH接続 | 11 | | |
| 5.3 ホームネットワークとの接続 | 11 | | |
| 6. 設定 | 12 | | |
| 6.1 サブウーファーの接続 | 12 | | |
| 6.2 3Dサラウンドサウンド | 13 | | |
| 7. 再生 | 14 | | |
| 7.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ | 14 | | |
| 7.2 TVソースからの再生 | 15 | | |
| 7.3 HDMI INソースからの再生 | 15 | | |
| 7.4 BLUETOOTHソースからの再生 | 16 | | |
| 7.5 JBL ONEアプリを通した再生 | 16 | | |
| 7.6 CHROMECAST BUILT-INを通した再生 | 17 | | |
| 7.7 AIRPLAYを通した再生 | 17 | | |
| 7.8 AMAZON MUSICを通した再生 | 17 | | |
| 7.9 マルチルーム再生 | 18 | | |

1. はじめに

JBL BAR 500 (サウンドバーおよびサブウーファー) をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、高品位な3Dサウンドを生み出すように設計された、ホームエンターテインメントシステムです。少々お時間を割いて、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。この取扱説明書では製品に関する説明と使用開始するまでの各手順をひとつひとつ説明しています。

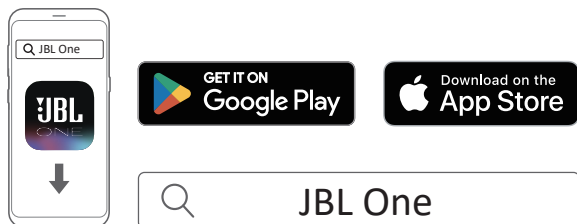
製品の機能とサポートをフル活用するには、今後インターネットで製品のソフトウェアをアップデートする必要があります。この取扱説明書のソフトウェアアップデートセクションを参照して製品のソフトウェアが最新バージョンになっていることをお確かめください。

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。サウンドバーと設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comをご覧ください。

JBL Oneアプリ

JBL Oneアプリで、お客様は次のことができます

- 簡単に完璧な製品の設定。
- *音楽ストリーミングサービスへの接続。
- 統合された音楽配信サービスの中から新しい音楽を探す。
- プリセットされたプレイリストとスピーカー設定にボタン一つでアクセスする。
- 利用可能な場合にソフトウェアアップデートへアクセスする。



詳細については、「[5.3 ホームネットワークとの接続](#)」と「[7.5 JBL Oneアプリを通じた再生](#)」をお読みください。

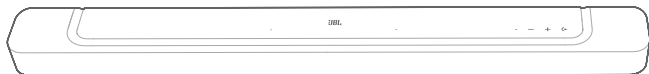
注:

- *サブスクリプション (定額契約) が必要か、JBL Oneアプリではこのサービスを提供していません。

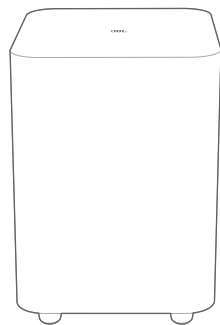
2. 同梱品

注意して箱を開封し、以下の物が同梱されていることをお確かめください。いずれかが破損している、または見当たらない場合は、小売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

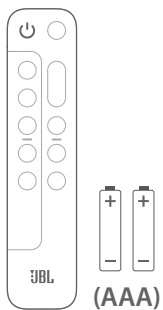
サウンドバー



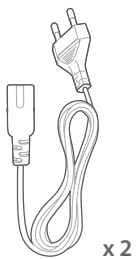
サブウーファー



リモコン(単4乾電池2本付属)

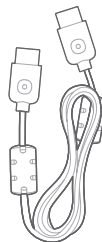


電源コード*

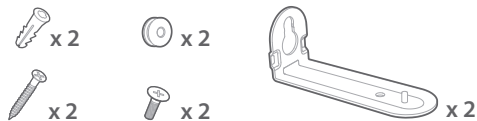


*電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

HDMIケーブル(1.2m)



壁取り付け用キット



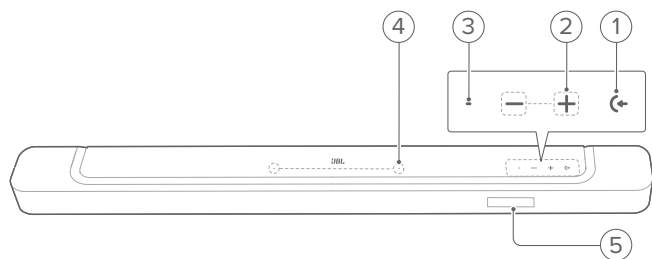
製品情報&壁取り付け用型紙



3. 製品の概要

3.1 サウンドバー

3.1.1 操作



1) 電源 (入カソース)

- 電源オン
- サウンド入力ソースを選択してください: TV (デフォルト、TV 接続からオーディオ入力する場合は **HDMI OUT (TV ARC/ TV eARC)** 端子が **OPTICAL** 端子より優先)、Bluetooth または HDMI IN

2) 音量 (+/-)

- 電源オン
- 音量の増減
- 押し続けると音量が増減します。
- 2つのボタンを同時に押ししてミュートまたはミュート状態を解除します

3) ステータスインジケータ

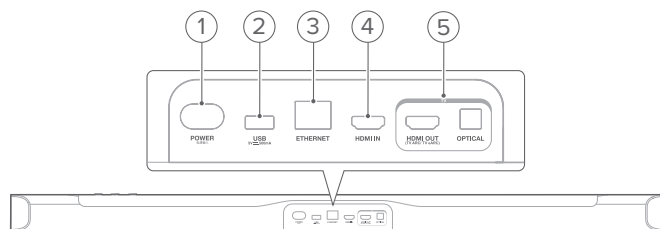
| システム: | | |
|-----------|-------------|------------------------------|
| ☉ | 定期的に点滅 (白色) | システムの起動 |
| ☉ | 素早く点滅 (白色) | ソフトウェアのアップデートが進行中 |
| ● | 点灯 (赤色) | 工場出荷時の設定への復元 |
| ネットワーク接続: | | |
| ○ | ゆっくり明滅 (白色) | Wi-Fi設定モードに入っているか、ネットワークに未接続 |
| ● | 点灯 (緑色) | JBL Oneアプリがサウンドバーを見つけた |
| ○ | 点灯 (白色) | ネットワークに接続済み |
| ● | 点灯 (黄色) | 微弱なWi-Fi接続 |

4) マイク

- サウンドキャリブレーション用

5) ステータス表示

3.1.2 背面接続端子



1) POWER

- 電源に接続します (付属の電源コードを使う)

2) USB

- ソフトウェアアップデート用USB端子 (アフターサービスのみで使用)
- MP3ファイルを再生するためにUSBストレージデバイスに接続 (米国モデルのみ)

3) ETHERNET

- Ethernetケーブルでホームネットワークに接続します

4) HDMI IN

- デジタル機器のHDMI出力に接続します

5) TV端子

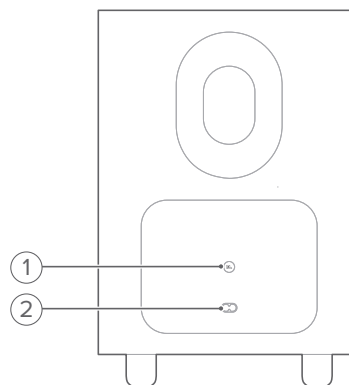
HDMI OUT (TV ARC/ TV eARC)

- TVのHDMI ARC / HDMI eARC入力に接続

OPTICAL

- TVまたはデジタル機器の光デジタル出力と接続します

3.2 サブウーファー



1) 接続状態のインジケータ

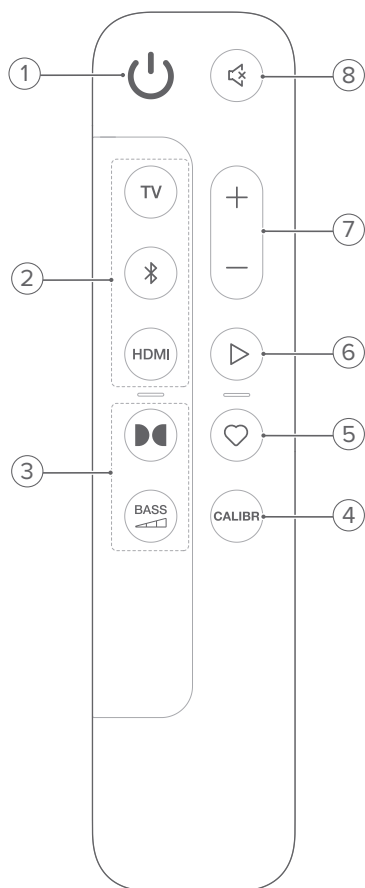
- 接続状態のインジケータ

| | | |
|---|-------------|------------------------|
| ○ | 点灯 (白色) | サウンドバーに接続済み |
| ☉ | 素早く点滅 (白色) | ペアリングモード |
| ○ | ゆっくり点滅 (白色) | 再接続中、または現在のペアリングモードを終了 |
| ● | 点灯 (赤色) | スタンバイモード |

2) 電源端子

- 電源に接続します (付属の電源コードを使う)

3.3 リモコン



- 1) 電源をオンまたはスタンバイ状態にする

2) 入力切替

TV

- TVを入力ソースとして選択します(デフォルト、TV接続からオーディオ入力を行う場合は**HDMI OUT (TV ARC/TV eARC)**端子が**OPTICAL**端子より優先)

※ (Bluetooth)

- Bluetoothソースを選択します
- 長押ししてBluetooth対応デバイスに接続します

HDMI

- HDMI IN**ソースを選択します

3) サウンドエフェクトボタン



- バーチャルDolby Atmos® サウンドエフェクトをオンまたはオフにします(デフォルト:オン)

BASS



- サブウーファー用の低音レベルを選択します: 1/2/3(デフォルト)/4/5

- 4) **CALIBR**
- 押すと、サウンドキャリブレーションを開始します
- 5) (Moment)
- 押すと、プレイリスト、またはJBL Oneアプリでカスタマイズしたスピーカー設定にダイレクトでアクセスします。
- 6) (JBL Oneアプリ、Chromecast built-in™、AirPlay、AlexaまたはBluetoothでの音楽ストリーミング中の再生の操作)
- 1回押す:再生の一時停止、または再開
 - 2回押す:次のトラック
 - 3回押す:前のトラック
- 7) **+ / -**
- 音量を増減します
 - 押し続けると、連続で増減します。
- 8) (ミュート)
- ミュート/ミュート解除

3.3.1 アプリが対応している操作

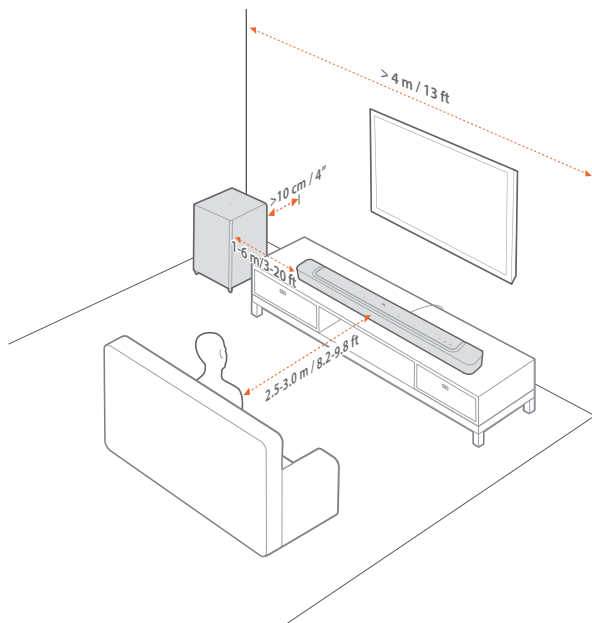
AndroidおよびiOSデバイスでJBL Oneアプリを使うと、次の操作が可能です:

- Wi-Fi設定。
- オーディオキャリブレーション&デモ。
- オーディオ設定のカスタマイズ。
- デバイスの管理と操作。
- 音楽配信サービスの統合。
- 追加の機能。

4. 設置

4.1 台への設置

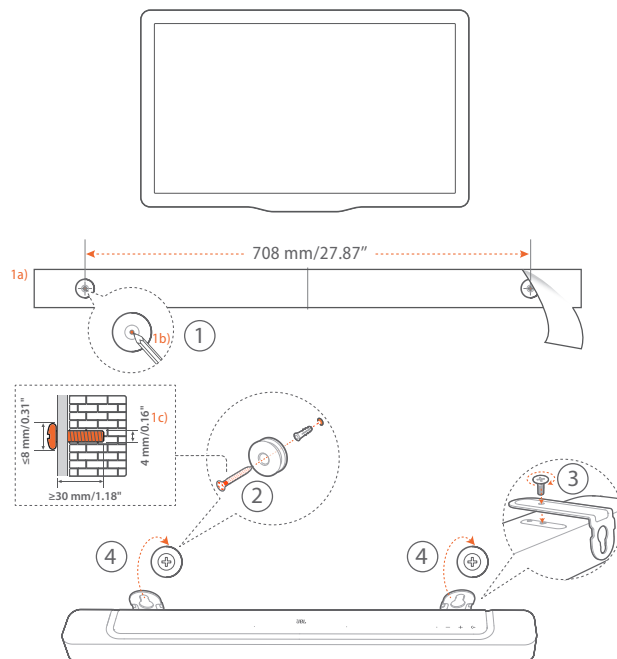
水平で安定した台の上にサウンドバーとサブウーファーを設置してください。サブウーファーがサウンドバーから最低1m、壁から10cm離れていることをご確認ください。



注:

- 電源コードを正しく電源に接続してください。
- サウンドバー、またはサブウーファーの上には何も置かないでください。
- サブウーファーとサウンドバー間の距離が6ft以内であることをご確認ください。

4.2 壁に取り付ける



1. 準備:

- a) 付属の壁取り付け用型紙をテープで壁に貼り付けてください。
- b) ペンなどでねじ穴の位置に印を付けてください。その後、型紙を取り外してください。
- c) 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。

2. 壁に取り付け金具の受けねじを取り付けます。
3. 金具をサウンドバーの底部にねじで固定します。
4. サウンドバーを壁に取り付けます。

注:

- 事前に壁がサウンドバーの重量に耐えられることを確認してください。
- 垂直の壁以外には取り付けないでください。
- 高温、または高湿度状態で設置しないでください。
- 壁に取り付ける前に、サウンドバーと外部デバイス間のケーブルが全て正しく接続されていることをご確認ください。
- 壁への取り付け前に、サウンドバーの電源が入っていないことをご確認ください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。

5. 接続

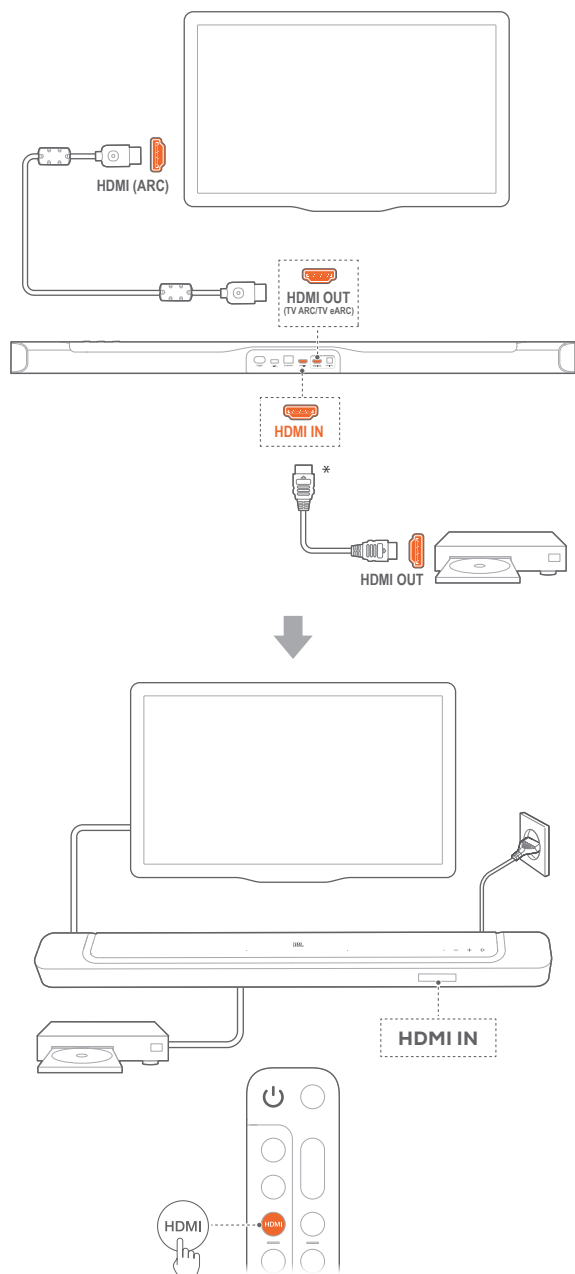
5.1 TVおよびデジタル機器との接続

サウンドバーでオーディオ再生を行うには、付属のHDMIケーブル、または光デジタルケーブル(別売)を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

HDMI接続は、ケーブル1本の接続によりオーディオと動画の両方を出力できます。このサウンドバーの接続にはHDMIを推奨します。

5.1.1 TV (HDMI ARC / eARC)

(ドルビーアトモス(Dolby Atmos)を最大限に満喫するための推奨接続)

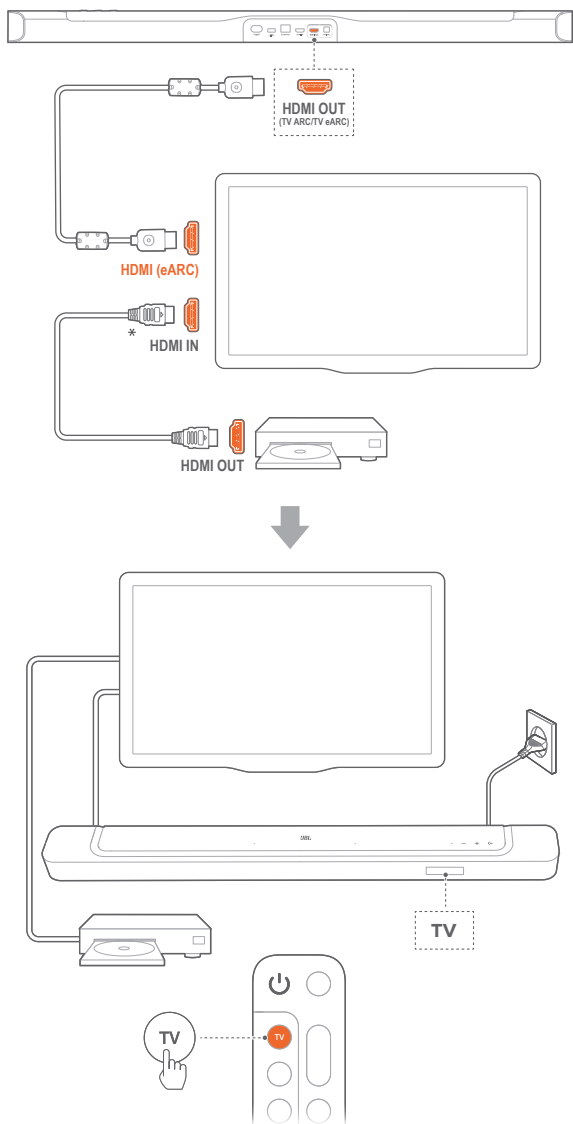


1. 付属のHDMIケーブルを使って、TVのHDMI IN (ARC/eARC) 端子をサウンドバーに接続してください。
 - TVがHDMI-CECとHDMI ARCに対応しているかどうかを確認してください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. HDMIケーブル (V2.0以降) を使用して、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタル機器とサウンドバーを接続してください。
 - デジタル機器がHDMI-CECに対応しているかどうかを確認してください。詳細については各デジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
 - デジタル機器で、ドルビーアトモスを最大限に満喫するためオーディオ出力設定は「ビットストリーム」または「オリジナルデータ」を選択してください。
3. サウンドバーに接続されたデジタル機器からオーディオを再生するには、リモコンのHDMIを選択してください。

注:

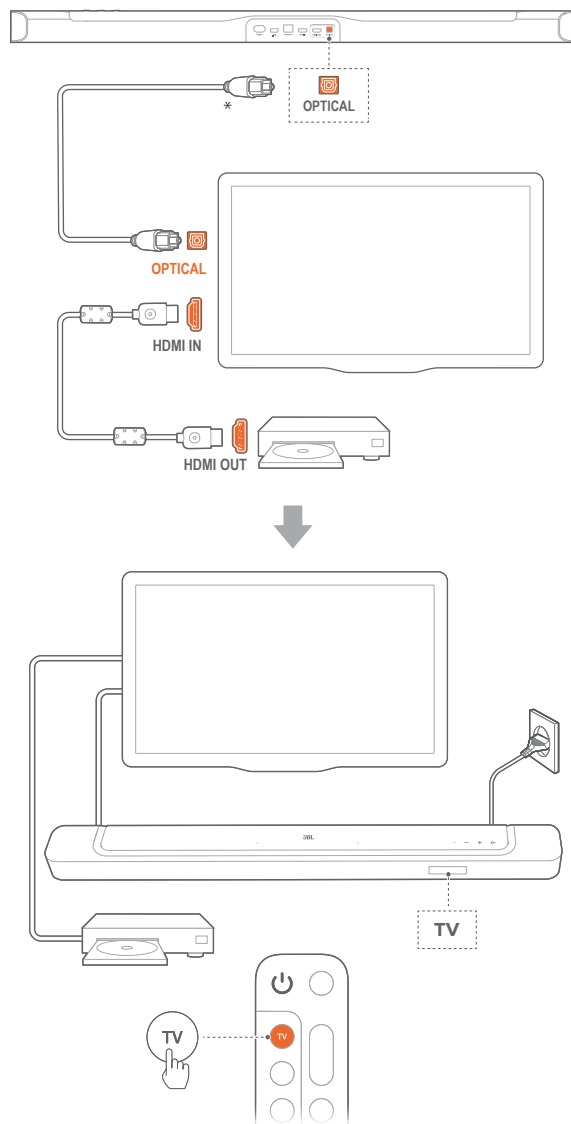
- TVがHDMI eARCに対応していない場合、TVの代わりにサウンドバーのHDMI IN端子を通してデジタル機器に接続していることをご確認ください。そのように接続しないと、ドルビーアトモス情報をHDMI (ARC) 端子を通してTVからサウンドバーに送ることができません。

5.1.2 TV (HDMI eARC)



1. 付属のHDMIケーブルを使って、TVのHDMI IN (eARC) 端子をサウンドバーに接続してください。
 - TVがHDMI-CECとHDMI eARCに対応しているかどうかを確認してください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. HDMIケーブル (eARCに対応、V2.0以降) を使用して、ストリーミングデバイス、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタル機器とTVを接続してください。
 - デジタル機器がHDMI-CECに対応しているかどうかを確認してください。詳細については各デジタル機器の取扱説明書をご参照ください。
 - TVとデジタル機器で、ドルビーアトモスを最大限に満喫するためオーディオ出力設定の「ビットストリーム」または「オリジナルデータ」を選択してください。
3. TVに接続されたデジタル機器からオーディオを再生するには、リモコンの**TV**を選択してください。

5.1.3 OPTICAL



注:

- パーチャドルビーアトモス設計により、このサウンドバーのドルビーサラウンドアップミキサーは5.1および7.1コンテンツを含むドルビーデジタルフォーマットのレガシーチャンネルベースのオーディオを拡張することができ、臨場感のある3Dアトモス体験を実現します。

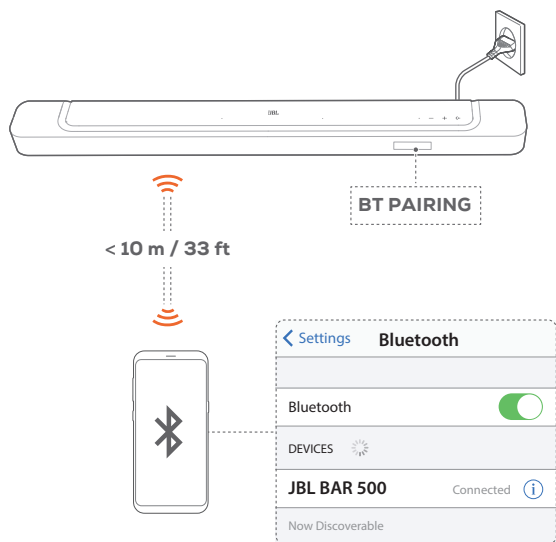
1. 光デジタルケーブルを使って、サウンドバーをTVに接続してください。
2. HDMIケーブル (V2.0以降) を使用して、ストリーミングデバイス、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタル機器とTVを接続してください。
3. 光デジタル端子ケーブルを通してオーディオを再生するにはリモコンの**TV**を選択してください。

注:

- *HDMIケーブル (デジタル機器接続用) および光デジタルケーブルは別売です。
- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。
- サウンドバーとTVがHDMI ARCと光デジタルケーブルの両方接続されている場合は、HDMI ARC接続が優先されます。

5.2 Bluetooth接続

Bluetoothで、スマートフォン、タブレット、ノートPCといったBluetooth対応デバイスにサウンドバーを接続してください。



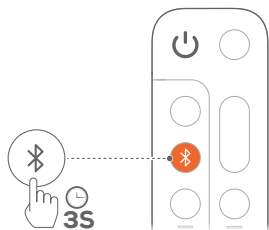
5.2.1 Bluetooth対応デバイスへの接続

- Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの 、またはリモコンの ボタンを押してください。
 - 「BT PAIRING」: Bluetoothペアリングの準備完了
- Bluetooth対応デバイスの方では、Bluetoothが有効になり、3分以内に「JBL BAR 500」の検索を開始します。
 - **正しく接続されました**: デバイスの名称が英語の場合は、英語で表示されます。確認音が鳴ります。

5.2.2 最後にペアリングしたデバイスを再接続するには

本機はスタンバイモード時もペアリングしたBluetooth対応デバイスを記憶しています。次回にBluetoothソースに切り換えた際、サウンドバーが自動的に最後にペアリングしたデバイスとの再接続を行います。

5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続するには



- Bluetoothソースで「BT PAIRING」が表示されるまで、サウンドバーの 、またはリモコンの ボタンを長押ししてください。
 - サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。
- 「5.2.1 Bluetooth対応デバイスへの接続」の手順2に従ってください。
 - デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合は、まずデバイスの「JBL BAR 500」のペアリングを解除してください。

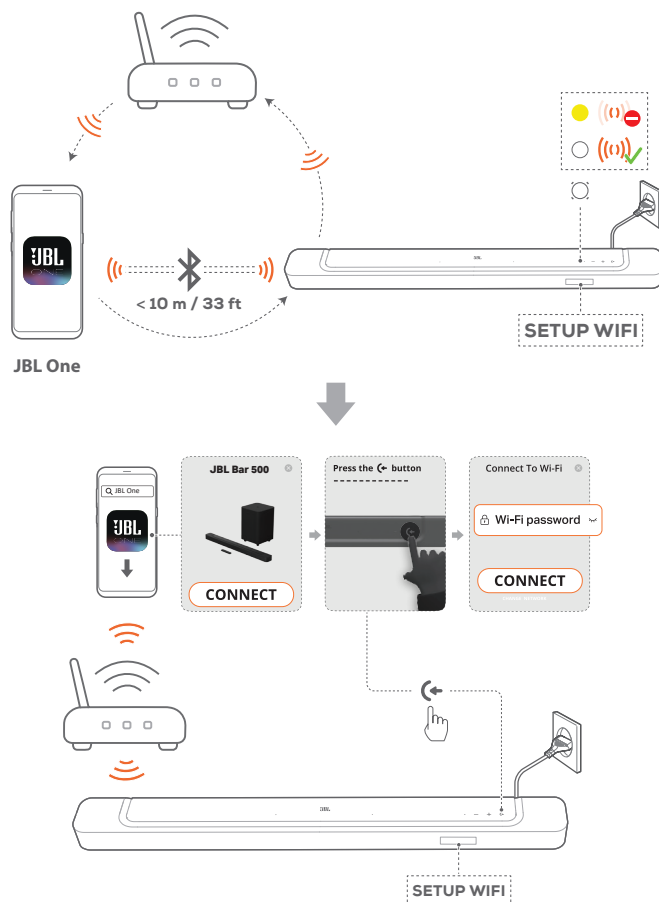
注:

- Bluetooth接続は、サウンドバーとBluetooth対応デバイスの距離が10mを超えている場合、接続が切れてしまいます。
- 周辺に電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLAN機器などの電磁波を出すデバイスはサウンドバーから離してお使いください。

5.3 ホームネットワークとの接続

Wi-Fi、またはEthernetケーブルを通してサウンドバーをホームネットワークに接続してください。JBL Oneアプリと対応するストリーミングデバイス (Chromecast built-in, AirPlay, Alexa) により、このサウンドバーはサウンドバースピーカーを通して、スマートフォンまたはタブレットから音楽をストリーミングすることが可能です。

- サウンドバーで、Wi-Fi設定モードに入ってください。
 - いずれかのボタンを押すと電源が入ります（「7.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」をお読みください）。
 - サウンドバーがネットワークに接続されていない場合は、画面に「HELLO」、次に「SETUP WIFI」と表示されます。
 - 再度Wi-Fi設定モードに入るには、「SETUP WIFI」と表示されるまで **+** と **-** ボタンを長押ししてください。
- AndroidまたはiOSデバイスで、サウンドバーをWi-Fiホームネットワークに追加してください。
 - AndroidまたはiOSデバイスをWi-Fiホームネットワークに接続してください。JBL Oneアプリをダウンロードしてください。
 - アプリの指示に従って設定を完了してください。



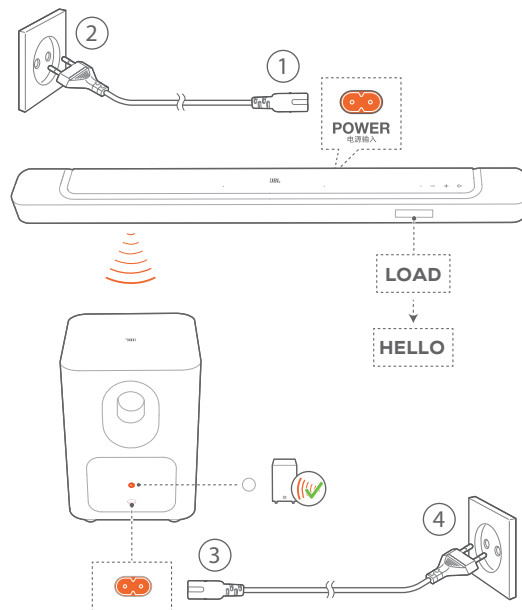
3. 必要があれば、Ethernetケーブルを使用してサウンドバーをホームネットワークに接続してください。
 - 設定時と同一のネットワークに接続されていることをご確認ください。

注:

- AndroidまたはiOSデバイスでは、JBL Oneアプリでサウンドバーに名前を付けることができます。
- iOSデバイスで、Apple Homeアプリにサウンドバーを追加し、その他のAirPlay対応スピーカーと一緒に管理することができます。
- iOSデバイスで、サウンドバーがWi-Fiホームネットワークに追加されている場合、AirPlay対応アプリからAirPlayストリーミングを開始することができます（「7.7 AirPlayを通じた再生」をお読みください）。
- どの音楽ストリーミングサービスが利用できるかどうかは国によって異なります。
- 特定の機能を使用するには、定額契約が必要かあるいは一部の国では利用できないサービスがあります。

6. 設定

6.1 サブウーファースの接続



1. 付属の電源コードを使って、サウンドバーを電源に接続してください。
 - サウンドバーの画面に「LOAD」、そして次に「HELLO」と表示されます。
2. 付属の電源コードを使って、サブウーファースを電源に接続してください。
 - サブウーファースがサウンドバーに自動的に接続されます。
接続済み: 白色で点灯します。

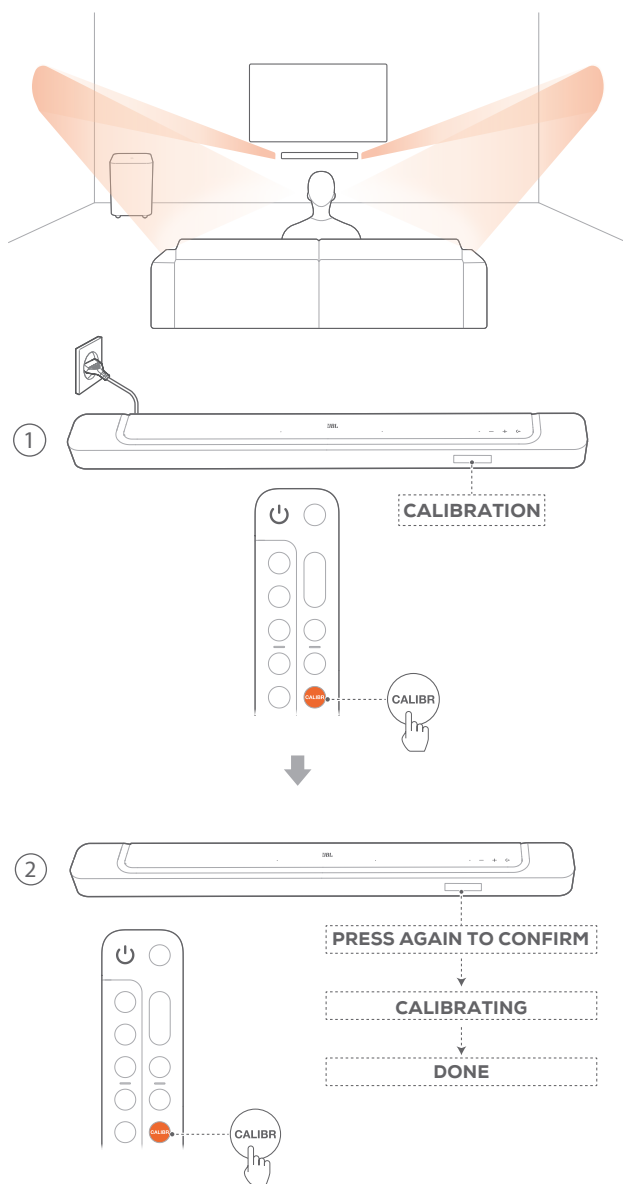
注:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源への接続前に、他の接続（「5.1 TVおよびデジタル機器との接続」をお読みください）が全て完了していることをご確認ください。

6.2 3Dサラウンドサウンド

6.2.1 サウンドのキャリブレーション

自分用のリスニング環境に合わせて、3Dサラウンドサウンドの体感を最適化できます。



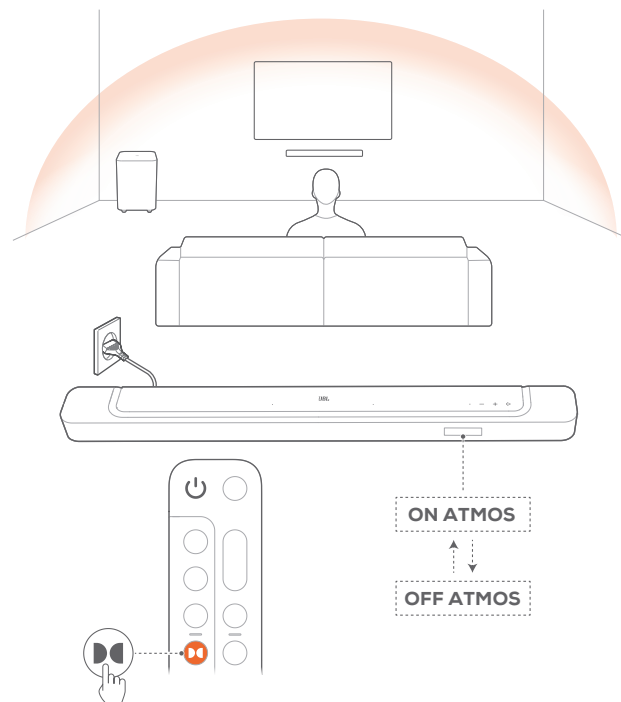
1. リモコンで、**CALIBR** を押してキャリブレーションを開始します。
→ サウンドバーに「**CALIBRATION**」と表示されます。
2. 「**PRESS AGAIN TO CONFIRM**」が表示されたら、再度 **CALIBR** を押します。
→ 5から1までのカウントダウンが始まります。
→ 測定音が鳴り始めます。オーディオキャリブレーションが開始されます。
「**CALIBRATING**」: キャリブレーションが進行中
「**DONE**」: キャリブレーションが正しく完了しました

注:

- サウンドのキャリブレーション中、0以外のリモコンのボタンはすべて無効になります。

6.2.2 Dolby Atmos®

TV/HDMI INソースで映画を再生する場合は、バーチャルドルビーアトモスを搭載した高さ方向に広がるサウンドエフェクトをお楽しみください。



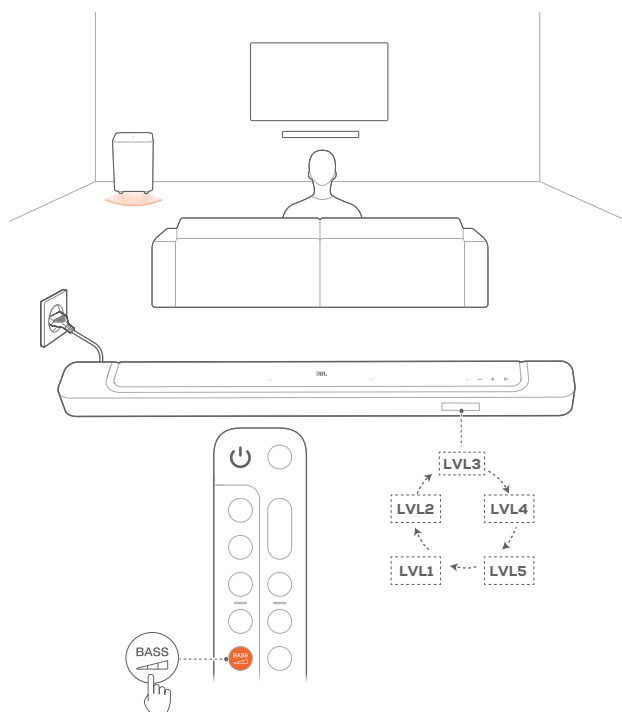
1. HDMI ARC/HDMI eARC端子およびHDMI端子を通してBlu-rayプレーヤーまたはストリーミングデバイスを接続・再生してください。(「[5.1 TVおよびデジタル機器との接続](#)」をお読みください)。
2. リモコンの ボタンを押して、高さ方向に広がるサウンドエフェクトをオンまたはオフにしてください(デフォルト:オン)。
→ サウンドバーの画面に「**ON ATMOS**」または「**OFF ATMOS**」と表示されます。


注:

- 映画鑑賞または音楽鑑賞中に高さ方向に広がるサウンドエフェクトを無効にしたい場合は、ATMOSエフェクトをオフにしてください。
- ATMOSエフェクトは、ドルビーオーディオコンテンツでのみ利用可能です。

6.2.3 低音の調節

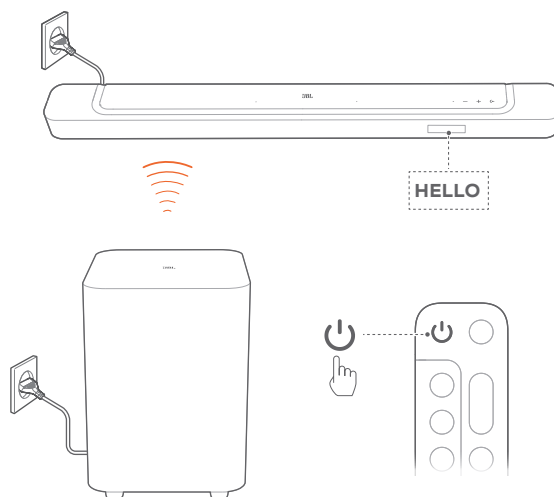
お好みで低音の調節を行うことができます。





- リモコンで、を押して低音レベルを切り替えてください。
→ 「LVL1」から「LVL5」が表示されます (デフォルト:「LVL3」)。

7. 再生


7.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ



7.1.1 電源オン

- スイッチを入れるには、サウンドバーのいずれかのボタンを押すか、またはリモコンの  ボタンを押してください。
→ 「HELLO」が表示されます。
→ 自動的にサブウーファーがサウンドバーに再接続されます。
接続済み:  白色で点灯します。

7.1.2 オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り替わります。「STDBY」が表示されます。サブウーファーがスタンバイモードに入ると、も赤色で点灯します。次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択されたソースに戻ります。

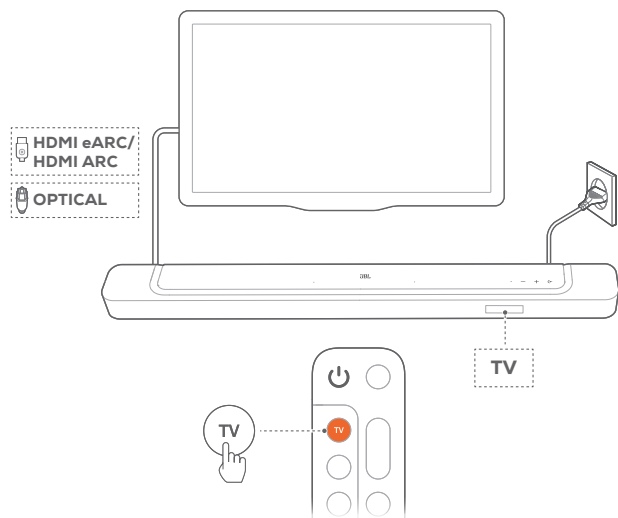
7.1.3 オートウェイクアップ

サウンドバーは下記の場合に自動的にスタンバイモードから復帰します

- サウンドバーがHDMI ARC/eARCでTVと接続されている場合は、TVの電源が入った時。
- サウンドバーがHDMI ARC/eARC接続、HDMI接続を通してテレビに接続されていて、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤー、ゲーム機のようなデジタル機器にも接続された状態でデジタル機器の電源が入った時。
- サウンドバーがホームネットワークに接続され、JBL Oneアプリ、Chromecast built-in、AirPlayまたはAlexaでの音楽ストリーミングサービスを通してサウンドバーにオーディオがストリーミングされた時。

7.2 TVソースからの再生

接続したサウンドバーのスピーカーでTVの音声を楽しむことができます。



1. TVが外部スピーカーに対応するように設定されていて、TVに内蔵されているスピーカーがミュート状態になっていることをご確認ください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください(「[5.1 TVおよびデジタル機器との接続](#)」をお読みください)。
3. TVソースを選択するには、サウンドバーの \leftarrow ボタン、またはリモコンのTVボタンを押してください。
 - 「TV」:TVソースが選択されました。
 - 工場出荷時設定では、デフォルトでTVソースが選択されています。

注:

- TVとサウンドバーがHDMIと光デジタル端子の両方のケーブルで接続されている場合は、HDMIケーブルでの接続が選択されます。

7.2.1 TVリモコンの設定

TVとサウンドバーの両方をTVのリモコンで操作するには、TVがHDMI-CECに対応していることを確認してください。TVがHDMI-CECに対応していない場合は、「[TVのリモコンの赤外線コマンド学習機能](#)」の手順に従ってください。

HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVのリモコンで、サウンドバーの音量の+/-、ミュート/ミュート解除、電源オン/スタンバイ機能を操作できます。

TVのリモコンの赤外線コマンド学習機能

赤外線コマンドラーニング機能を使って、赤外線信号を使用しているTVのリモコンのいくつかの操作をサウンドバーに学習・対応させることができます。

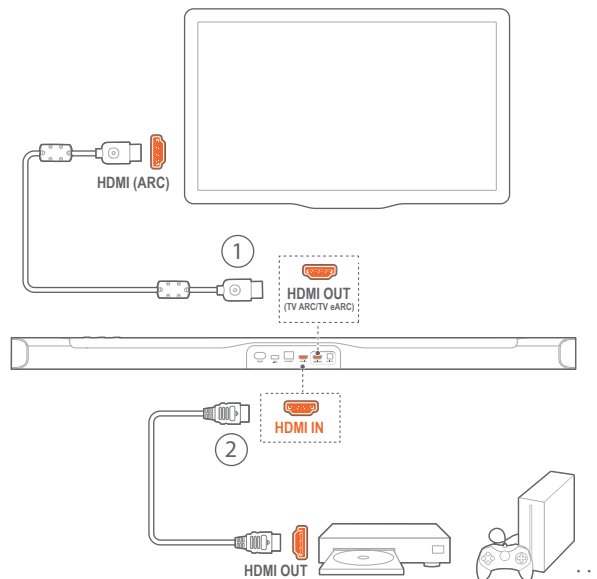
1. サウンドバーで、「LEARNING」と表示されるまで \leftarrow と+ボタンを長押ししてください。
 - TVのリモコンコマンドを学習するモードに入ります。
2. TVのリモコンをサウンドバーに向けてください。画面の指示に従ってTVのリモコンのボタンを操作してください:
 - サウンドバーに「POWER」、「VOL+」、「VOL-」、または「MUTE」のいずれかが表示されたら、TVのリモコンのお好きなボタンを押します。
 - 「DONE」:TVのリモコンの操作ボタンがサウンドバーボタンの機能を学習します。
 - サウンドバーは最後に選択された入力ソースに戻ります。
 - TVのリモコン学習モードを中止および終了するには、「EXIT LEARNING」が表示されるまでサウンドバーの \leftarrow と+ボタンを長押ししてください。
 - 学習された機能は破棄されます。

注:

- 30秒間操作しない場合、サウンドバーは自動的にTVリモコン学習モードを終了します。学習された機能は破棄されます。

7.3 HDMI INソースからの再生

下図のようにサウンドバーを接続すると、デジタル機器の映像をTVで出力し音声をサウンドバーから出力して再生することが可能です。



1. サウンドバーがTVとデジタル機器に正しく接続されていることをご確認ください(「[5.1 TVおよびデジタル機器との接続](#)」をお読みください)。

- デジタル機器の電源を入れてください。
→ TVとサウンドバーがスタンバイモードから復帰し、自動的に入力ソースを切り替えます。
 - サウンドバーの**HDMI IN**ソースを選択するには、サウンドバーの**←**ボタン、またはリモコンの**HDMI**ボタンを押してください。
- TVがスタンバイモードに切り替わります。
→ サウンドバーとソース機器がスタンバイモードに切り替わります。

注:

- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。

7.4 Bluetoothソースからの再生

Bluetoothを使って、Bluetooth対応デバイスからサウンドバーに音楽をストリーミング再生します。

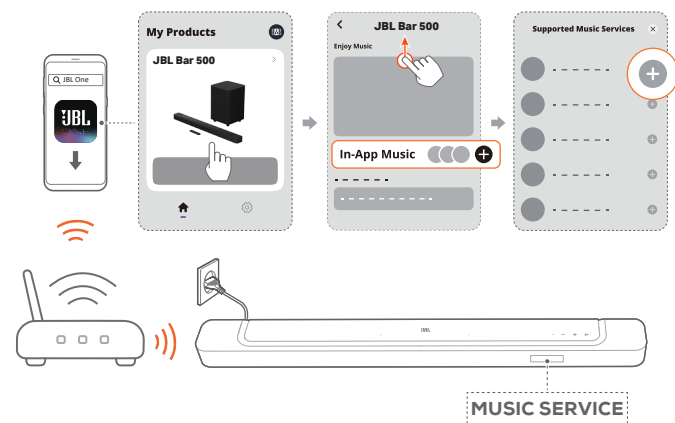


- サウンドバーがBluetooth対応デバイスに正しく接続されていることを確認してください(「[5.2 Bluetooth接続](#)」をお読みください)。
- Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの**←**ボタン、またはリモコンの**📶**ボタンを押してください。
- Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始します。
 - または、リモコンの**▶**ボタンを押すと再生します。
- サウンドバー、TVのリモコンまたはBluetooth対応デバイスの音量を調節します。

7.5 JBL Oneアプリを通した再生

JBL Oneアプリを通して、オンラインの音楽配信サービスからサウンドバーに音楽をストリーミングします。

- サウンドバー側
 - サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることを確認してください(「[5.3 ホームネットワークとの接続](#)」をお読みください)。
- AndroidまたはiOSデバイス側
 - AndroidまたはiOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることを確認してください。
 - JBL Oneアプリを起動し、利用可能な*音楽ストリーミングサービスをブラウズして音楽を選択し、次に接続されているサウンドバーへの音楽ストリーミングを開始します。



- 音楽再生を終了するには、他の入力ソースに切り替えてください。

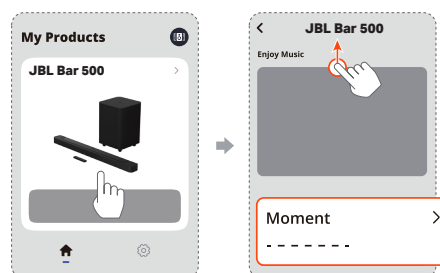
注:

- *サブスクリプションが必要だったり、JBL Oneアプリがサービスを提供していないことがあります。

♡ (Moment)ボタンでプリセットにアクセスする

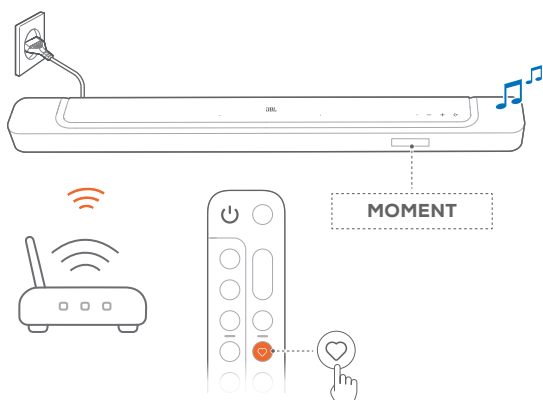
リモコンの♡ボタンを押すと、JBL Oneアプリでカスタマイズしたプレイリストとスピーカー設定にアクセスすることができます。

- JBL Oneアプリ側
 - ♡ (Moment)機能をカスタマイズ。



2. サウンドバー側

- リモコンの♡ ボタンを押して、カスタマイズしたプレイリストとスピーカー設定にアクセスします。



7.6 Chromecast built-inを通した再生

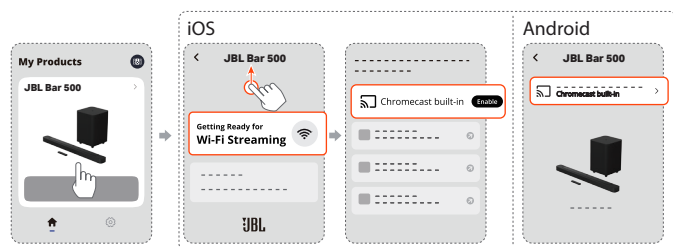
Chromecast built-inを使って、AndroidまたはiOSデバイスからサウンドバーに音楽をストリーミングします。

1. サウンドバー側

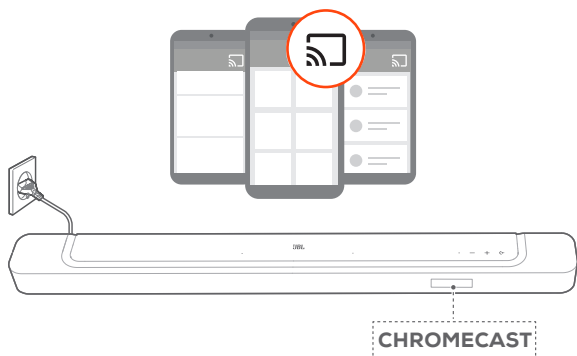
- サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることを確認してください(「5.3 ホームネットワークとの接続」をお読みください)。

2. AndroidまたはiOSデバイス側

- AndroidまたはiOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることを確認してください。
- JBL Oneアプリを起動して、Chromecast built-inのストリーミングサービスに対応していることを確認します。



- Chromecast対応アプリで音楽を再生し、キャストアイコンをタップし、接続されたサウンドバーを選択します。



- 音楽再生を終了するには、他の入力ソースに切り替えてください。

7.7 AirPlayを通した再生

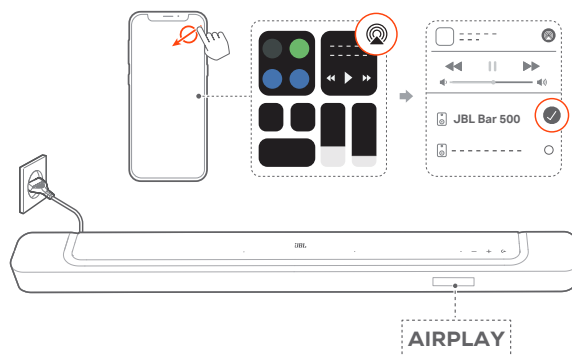
AirPlayを使って、iOSデバイスからサウンドバーに音楽をストリーミングします。

1. サウンドバー側

- サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることを確認してください(「5.3 ホームネットワークとの接続」をお読みください)。

2. iOSデバイス側

- iOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることを確認してください。
- iOSデバイスのコントロールセンターに入るには、画面右上隅から下にスワイプします。📶をタップして接続されたサウンドバーを選択し、アプリからオーディオストリーミングを開始してください。



- 音楽再生を終了するには、他の入力ソースに切り替えてください。

7.8 Amazon Musicを通した再生

サウンドバーをAlexaに接続すると、Amazon Musicライブラリからサウンドバーに音楽をストリーミングすることができます。

1. サウンドバー側

- サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることを確認してください(「5.3 ホームネットワークとの接続」をお読みください)。

2. AndroidまたはiOSデバイス側

- AndroidまたはiOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることを確認してください。
- JBL Oneアプリを起動して、Amazon Alexaのストリーミングサービスに対応していることを確認します。



3. Amazon Alexaアプリを起動して音楽再生を開始してください。



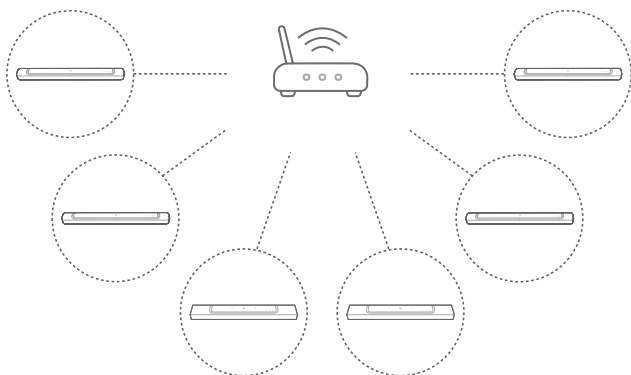
- Amazon Musicアプリを開いてAmazon Musicライブラリにアクセスしてください。
- JBL Oneアプリに対応した、同一のAlexaアカウントから音楽再生を開始していることをご確認ください。詳細については、Amazon Alexaアプリをご参照ください。

注:

- サウンドバーは、音声のストリーミングには対応していますが、動画のストリーミングには対応していません。
- Chromecast built-in、AirPlayまたはAlexaの再生中、2番目に接続したデバイスで音楽再生を開始すると、現在接続されているデバイスの音楽再生が一時停止します。
- AirPlayの使用中にサウンドバーでWi-Fiホームネットワークと有線ネットワークを切り替えると、ブロードバンドの帯域幅の状態に応じて音楽再生が一時停止し、数分で再開します。有線のホームネットワークに接続するには、「5.3 ホームネットワークとの接続」をお読みください。

7.9 マルチルーム再生

マルチルーム再生により、AndroidまたはiOSデバイス上で複数のChromecast対応/AirPlay/Alexaスピーカーに音楽をストリーミングすることができます。



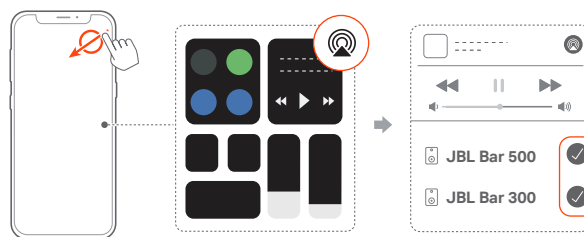
7.9.1 Chromecast built-in

1. Google Homeアプリから、複数のChromecast対応スピーカーを同一のネットワークに接続し、複数の部屋に割り当て、必要な場合はグループを作成してください。
2. スマートフォンまたはタブレットでChromecast対応アプリを起動してください。
3. 音楽を再生します。📶を押して、グループ化されたスピーカーを選択してください。

注:

- Google Homeアプリでマルチルームスピーカーグループを作成するには、すべてのスピーカーを同じホームネットワークに接続しており、同じGoogleログインアカウントを使用していることをご確認ください。詳細については、Google Homeアプリをご参照ください。
- ローカルネットワークの帯域幅に応じて、最高6台のChromecast対応スピーカーに音楽をストリーミングすることができます。

7.9.2 AirPlay



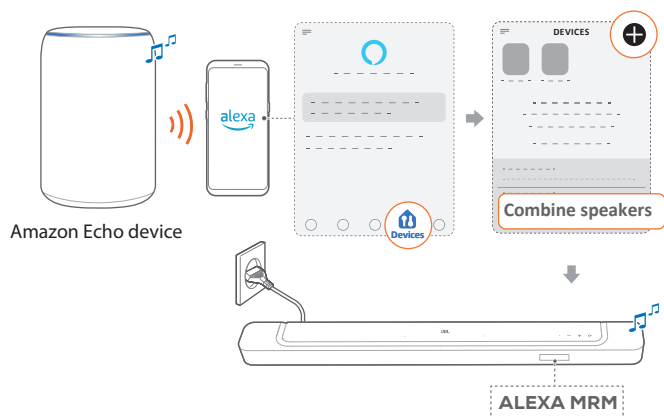
1. iOSデバイスでコントロールセンターに入ります。
2. 📶をタップし、必要に応じて複数の接続済みのスピーカーを選択してください。
3. アプリで音楽ストリーミングを開始します。

7.9.3 Alexa MRM: マルチルームミュージック

1. JBL Oneアプリを通し、サウンドバー上でAmazon Alexaのストリーミングサービスに対応していることを確認します。



2. Amazon Alexaアプリで、サウンドバー用のマルチルームミュージックグループを作成してください。詳細については、Amazon Alexaアプリをご参照ください。



注:

- Amazon Alexaアプリでマルチルームミュージックグループを作成するには、すべてのデバイスを同じホームネットワークに接続しており、同じAlexaログインアカウントを使用していることをご確認ください。詳細については、Amazon Alexaアプリをご参照ください。

8. サウンドの設定

8.1 オーディオシンク

ビデオコンテンツの映像と音声にズレを感じる場合は、オーディオシンク機能により調整ができます。

1. リモコンで、TVボタンを3秒以上長押しして、次に**+**ボタンを押してください。
 - 「SYNC」が表示されます。
2. 5秒以内に、リモコンの**+**または**-**ボタンを押して音声の遅延を調節し、映像に合わせます。
 - オーディオシンクのタイミングが表示されます。

8.2 スマートモード

本機は、サウンドエフェクトにより深みのある音声でTV番組を楽しむスマートモードがデフォルトで設定されています。ニュースや天気予報といったサウンドエフェクトを必要としない番組では、スタンダードモードに切り替えてサウンドエフェクトを低減することで、より声が聞き取りやすくなるように変更することもできます。

スマートモード: サウンドエフェクトに深みを持たせるため、EQとJBL独自のサラウンドサウンドを使用します。

スタンダードモード: 通常のサウンドエフェクトには、プリセットEQを使用します。

スマートモードを無効にするには、以下の手順に従ってください:

- リモコンで、**+**ボタンを3秒以上長押しして、次に**+**ボタンを押してください。
 - 別のモードに切り替えます。「OFF SMART MODE」: スタンダードモードが有効になります。
 - 次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、スマートモードは再度、自動的に有効になります。

9. 工場出荷時設定への復元

工場出荷時の初期設定に復元することにより、サウンドバーの個人的な設定は全て削除されます。

- サウンドバーで、**◀、+と-**ボタンを5秒以上長押ししてください。
 - 「RESET」が表示されます。
 - サウンドバーが再起動します。

10. ソフトウェアのアップデート

最適なパフォーマンスと最善の体験のため、今後サウンドバーのソフトウェアアップデートを提供する可能性があります。

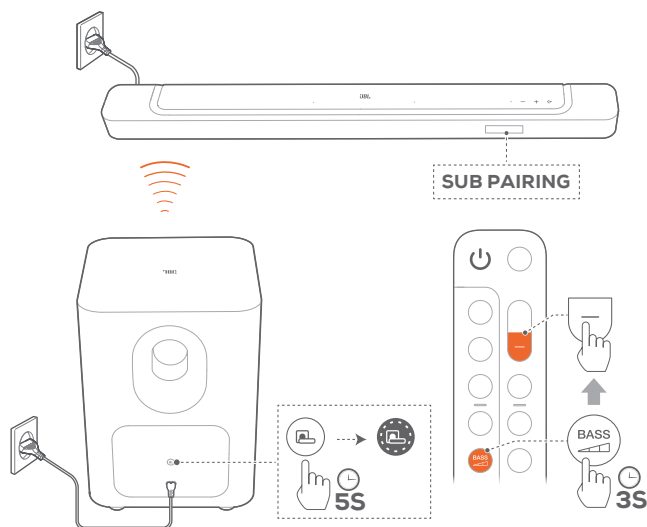
オンラインでのアップデート



- サウンドバーをホームネットワークに接続してください。新しいソフトウェアのアップデートがある場合は、自動的にオンラインネットワーク経由で行われます。
 - 「WAIT」:ソフトウェアのアップデートが進行中
 - 「DONE」:ソフトウェアアップデートが完了

11. サブウーファーの再接続

サウンドバーとサブウーファーは、工場出荷時設定ではペアリングされています。電源を入れると、自動的にペアリングされて接続されます。再度ペアリングしなければならない場合があります。



サブウーファーのペアリングモードに再度入るには

1. サブウーファーの背面パネル上で、素早く白色で点滅するようになるまで ボタンを長押ししてください。
 2. サウンドバー上でサブウーファーのペアリングモードに入るには、リモコンの ボタンを3秒以上長押ししてください。次に、リモコンの ボタンを押してください。
- 「SUB PAIRING」: サブウーファーはペアリングの準備ができています。
- 「SUB PAIRED」: サブウーファーが接続されています。

注:

- ペアリングが完了しない場合、サブウーファーのペアリングモードは3分で解除され、スタンバイモードになります。 は白色で素早く点滅から、オフに変わります。ペアリングモードに戻るには、 ボタンを押します。

12. 製品の仕様

仕様:

- モデル名:
BAR 500 (サウンドバーユニット)
BAR 500 SUB (サブウーファーユニット)
- システム構成: 5.1 チャンネル
- 電源: 100-240V AC、~50/60Hz
- 総合出力 (最大@THD 1%) : 590W
- サウンドバー出力 (最大@THD 1%) : 290W
- サブウーファー出力 (最大@THD 1%) : 300W
- サウンドバー部スピーカー構成:
46 x 90mm楕円形ドライバー x 4、20mmツイーター x 3
- サブウーファードライバー: 260mm
- ネットワーク接続した状態でのスタンバイ時消費電力:
2.0W未満
- 動作保証温度: 0 °C ~ 45 °C

HDMI仕様

- HDMIビデオ入力: 1
- eARC対応HDMIビデオ出力: 1
- HDMI HDCPバージョン: 2.3
- HDRパススルー: HDR10、ドルビービジョン

オーディオ仕様

- 周波数特性: 35Hz-20kHz (-6dB)
- オーディオ入力: 光デジタル x 1、Bluetooth、USB (米国モデル以外は電力供給用のみ)

USB仕様 (オーディオ再生は米国バージョン用のみです)

- USB端子: Type A
- USB定格: 5V DC、0.5A

ワイヤレス仕様

- Bluetoothバージョン: 5.3
- Bluetoothプロファイル: A2DP 1.2、AVRCP 1.5
- Bluetooth対応トランスミッター周波数帯域:
2400MHz-2483.5MHz
- Bluetooth対応トランスミッター出力:
15dBm未満 (EIRP)
- Wi-Fiネットワーク:
IEEE 802.11 a/b/g/n/ac/ax (2.4GHz/5GHz)
- 2.4G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域:
2412-2472MHz (2.4GHz ISMバンド、米国11チャンネル、欧州とその他の地域13チャンネル)
- 2.4G Wi-Fiトランスミッター出力: 20dBm未満 (EIRP)
- 5G Wi-Fiトランスミッター周波数帯域:
5.15-5.35GHz、5.470-5.725GHz
- 5G Wi-Fiトランスミッター出力:
5.15-5.25GHz 23dBm未満、
5.25-5.35GHz&5.470-5.725GHz 20dBm未満
- 2.4G ワイヤレストランスミッター周波数帯域: 2406-2474MHz
- 2.4G ワイヤレストランスミッター出力: 10dBm未満 (EIRP)

外形寸法

- サウンドバー寸法 (幅x高さx奥行) : 1017 x 56 x 104mm
- サブウーファー寸法 (幅x高さx奥行) : 305 x 441 x 305mm
- サウンドバー重量 : 約2.8kg
- サブウーファー重量 : 約10kg
- 梱包寸法 (幅x高さx奥行) : 1105 x 370 x 475mm
- 梱包重量 : 約16.2kg

13. トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。製品使用時に問題がある場合は、以下の点を確認してください。

システム

本機の電源が入らない。

- 電源コードがコンセントとサウンドバーに正しく挿しこまれているかどうかご確認ください。

ボタンを押してもサウンドバーが反応しない。

- サウンドバーを工場出荷時設定に復元します ([「9. 工場出荷時設定への復元」](#)をお読みください)。

サウンド

サウンドバーから音が出ない。

- サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- リモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーをTVまたは他のデバイスに正しく接続してください。
- サウンドバーを工場出荷時の設定に復元するには、サウンドバーの(←、+と-)ボタンを5秒以上長押ししてください。

音が歪んでいる、エコーのように聞こえる

- TVの音声をサウンドバーで再生している場合は、TVがミュート状態になっていてTVのスピーカーから音声が出力されていないことをご確認ください。

音声と映像が同期していない。

- オーディオシンク機能を有効にして音声と映像を同期させてください ([「8.1 オーディオシンク」](#)をお読みください)。

ドルビーアトモスの高さ方向のサウンドエフェクトが有効にならない

- TVがHDMI ARCのみに対応している場合、サウンドバーのHDMI IN端子を通してサウンドバーにデジタル機器が接続されていることをご確認ください ([「5.1.1 TV \(HDMI ARC / eARC\)」](#)をお読みください)
- TV/HDMIソースから映画を再生している場合は、ドルビーアトモスのサウンドエフェクトをお楽しみください。ドルビーアトモスはBluetoothまたはキャストアプリ (Chromecast built-in, AirPlayまたはAlexaに対応) のストリーミングでの再生時には対応していません。

Bluetooth

サウンドバーにデバイスを接続できない。

- デバイスのBluetoothが有効になっているかどうか確認してください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応デバイスとペアリングされていた場合は、Bluetoothをリセットしてください ([「5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続するには」](#)をお読みください)。
- Bluetooth対応デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合、サウンドバーのBluetoothをリセットして、サウンドバーとBluetooth対応デバイスのペアリングを解除し、再度Bluetooth対応デバイスとサウンドバーをペアリングしてください ([「5.2.3 別のBluetooth対応デバイスに接続するには」](#)をお読みください)。

接続したBluetooth対応デバイスからのオーディオ品質が良くない。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソース機器をサウンドバーに近づけるか、ソース機器とサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Bluetooth対応デバイスとの接続が、切れたりつながったりする。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソース機器をサウンドバーに近づけるか、ソース機器とサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Wi-Fi

Wi-Fiへの接続に失敗した。

- Wi-Fiの電源が入っていることをご確認ください。
- ネットワークの選択とパスワードの入力に間違いがないことをご確認ください。
- ルーターまたはモデムの電源が入っていて、有効範囲内にあることをご確認ください。
- ルーターの設定で、セキュリティタイプがWPA2 または自動に設定されていることをご確認ください。
- サウンドバーがスマートフォンまたはタブレットと同一のワイヤレスLANに接続されていることをご確認ください。
- Wi-Fiの設定が難しい場合、「SETUP WIFI」が表示されるまでサウンドバーの**+**と**-**ボタンを長押しします。

再生

AirPlayがサウンドバーを音楽ストリーミング用のAirPlayスピーカーとして見つけることはできません。

- Appleデバイスで、ソフトウェアを最新のバージョンにアップデートしてください:iOS 13.4以降、macOS 10.15.4以降またはtvOS 14.3。
- Appleデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることをご確認ください。
- Windows用のiTunesをPCで作動させれば、Bluetoothを通してPCからサウンドバーに音楽をストリーミングすることができます。

BluetoothからChromecast built-in、AirPlay、またはAlexaまで、サウンドソースを切り替える際に音楽再生がスムーズに行えない。

- キャスト再生の音質はサウンドバーとスマートフォン、タブレット、そしてPCのような送信側機器が接続しているネットワークの混雑具合やカバー範囲によります。

BluetoothからTV/HDMI INへ、そして再度Bluetoothにサウンドソースを切り替える場合に音楽再生が再開しない。

- BluetoothからTV/HDMI INへとサウンドソースを切り替える際に、Bluetooth対応デバイスの音楽再生は停止します。ソースを切り替えてBluetoothソースに戻す場合、再度Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始してください。

Amazon Alexaアプリでサウンドバーが「オフライン」状態になっている、またはAlexa MRM関連の再生に問題が発生している。

- サウンドバーを元の状態に戻すには、5秒以上**(←、+と-)**ボタンを長押しして、サウンドバーを工場出荷時の設定に復元します。

リモコン

リモコンが使えない。

- 電池の寿命が切れていないかどうかを確認してください。電池が寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとサウンドバーとの距離を縮めたり、角度を変えたりしてみてください。

TVのリモコンのラーニングに失敗した。

- TVのリモコンが赤外線方式のものかどうか確認してください。赤外線コマンド学習機能はBluetooth方式のTVのリモコンには対応していません。

14. 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI trade dress and the HDMI Logos are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



Wi-Fi CERTIFIED 6™ and the Wi-Fi CERTIFIED 6™ Logo are trademarks of Wi-Fi Alliance®.

COMPATIBLE WITH



Dolby, Dolby Vision, Dolby Atmos, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 2012–2021 Dolby Laboratories. All rights reserved.



Google, Android, Google Play, Chromecast built-in, and Google Home are trademarks of Google LLC.

Google Assistant is not available in certain languages or countries.



Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple, and AirPlay are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions. The trademark “iPhone” is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

To use AirPlay with JBL BAR 500, the latest version of iOS, iPadOS, or macOS is recommended.



Amazon, Alexa, and all related marks are trademarks of Amazon.com, Inc. or its affiliates.



Use your phone, tablet or computer as a remote control for Spotify. Go to spotify.com/connect to learn how.

The Spotify Software is subject to third party licenses found here: <https://www.spotify.com/connect/third-party-licenses>.

15. オープンソースのライセンスに関する 注意

本製品はGPLの許可を得たオープンソースソフトウェアを内蔵しています。参考までに、ソースコードと関連する構築指示はhttps://harman-webpages.s3.amazonaws.com/JBL_BAR_Gen3_package_license_list.htmでも入手可能です。以下にお問い合わせください：

Harman Deutschland Gmb

HATT: オープンソース、Gregor Krapf-Gunther、Parkring 3

85748 Garching bei Munchen, Germany

または、製品のオープンソースソフトウェアに関する追加の質問がございましたら、OpenSourceSupport@Harman.comまでお問い合わせください。



HARMAN International Industries,
Incorporated 8500 Balboa Boulevard,
Northridge, CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2024 HARMAN International Industries, Incorporated.

無断複写・転載を禁じます。

JBLは、HARMAN International Industries, Incorporatedの、米国および/またはその他の国々の商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。